

私たちの活動

(1) 親切善行活動

(2) 福祉活動

(3) 啓発活動

(4) 貸し出し活動

(5) 拡充活動

富山県善意銀行ホームページ



第61回親切・善行感謝感謝の集い プレジール演奏会

富山善銀

第172号

発行所

公益社団法人
富山県善意銀行
富山市桜橋通り1-18
北日本桜橋ビル5階
電話・FAX(076)431-2239

印刷所

北日本印刷株式会社



こどもたちのえがおは、お母さんのえがおから

NPO法人えがおプロジェクト

出分 玲子

日本では9人に1人の子どもが貧困状態にあります。ひとり親家庭に限ると、その半数近くが貧困に苦しんでいるのが現実です。これは決して他人事ではありません。

特に深刻なのは、こうした問題が「自己責任」だと片付けられがちなことです。富山県でもシングルママの94.1%が働いているにもかかわらず、その4割近くが年収200万円以下という状況があります。必死に働いても、生活が楽にならない。子どもを育てながら、仕事と家庭を両立させることの大変さは、想像を超えるものです。

富山県は恵まれている、という声を耳にすることがあります。しかし、それは幻想です。頼れる親族がいないシングルママは少なくありません。その背景には、親族自体が貧困状態にある、あるいは親からの虐待があった、そもそも親がいないという事情があります。頼れる親族がいない場合、シングルママの子育ては毎日が綱わたりのようです。経済的な不安を抱えるシングルママは、子どもに塾や習い事、旅行や本、食べ物も我慢させています。障害児を育てるシングルママは、病院の受診や美容院に行くなど自分の時間を確保するのが難しい。DV被害者のシングルママは、精神的・身体的なダメージから回復する間もなく、日々の生活に必死です。プレシングルママ(離婚を前提に別居しているお母さん)は、ひとり親のための制度が使えないひとり親で、経済的にも精神的にも不安定な生活を送っています。

私たちにも不安定な生活を送っています。まずは、ひとり親家庭の現状を正しく理解し、自分事として考えることが重要だと考えます。たとえば、地域のサポート活動に参加したり、制度やサービスを改善するための意見を発信したりすることで、彼女らの生活を少しでも支えることができるかもしれません。また、ひとり親家庭が直面する偏見や孤立感を和らげるために、周囲が温かい理解と配慮を示すことも大切です。

えがおプロジェクトは、ひとり親家庭支援、DV被害者支援、子育て支援の活動をとおり富山県のひとり親家庭の親子を支えています。私たちが今支える子どもたちが、未来の社会を担う大人に成長します。そのえがおが、地域を豊かにし、日本全体を元気にする原動力となります。どうか、一緒に考え、行動してください。子どもたちのえがおは、地域全体、そして私たち自身の未来をも明るくします。



えがおプロジェクトホームページ
https://www.e-go-project.jp/

「第61回親切・善行感謝の集い」を開催しました

2月15日(土)に富山県教育文化会館で今年も親切善行感謝の集いを開催しました。当日は、それまでの雪が嘘のように快晴の素晴らしい天気になり、236人の顕彰者の善行をたたえる素晴らしい日になりました。

第一部 アトラクション



今年はプレジールの皆さんの演奏会を開催しました。プレジールは、大阪音楽大学の卒業生からなる同窓会《幸楽会》富山県支部の有志で結成されたグループです。出演者は越前典子様(ソプラノ)、山元由起様(ソプラノ)、尾島理英子様(ピアノ)の三人で会場に素晴らしい歌声を届けてくださいました。本格的な声楽が聴けるとてもいい機会になりました。となりのトトロやディズニードレー等誰もが楽しめる曲から、オペラ「椿姫」の乾杯の歌のような本格的な声楽までとても楽しめました。鬼のパンツの歌に合わせて身振りを入れて楽しんだり、昨年大流行した「はいよろこ

んで」のピアノ独奏など、会場が一体となって楽しむことができました。

第二部 感謝の集い 式典

【理事長式辞】

日本はチャリティやボランティアが少ないと言われますが、本日顕彰された方のように社会の中でさりげない親切活動を展開している方々の活動が多々見られることはうれしいことです。



「小さな親切」は難しいことではありません。ちょっとした親切を勇気を出して行うことがこれからも社会の習慣として根付いてほしいと思います。

【来賓の皆様の祝辞】

「富山県知事 新田八朗様」(代理 副知事 佐藤一絵様)「富山県議会議員 山本徹様」
「富山県をよくなる会会長 金岡克己様」より祝辞をいただきました。

【善行者へ顕彰状贈呈】 親切善行感謝の集い

善行者236名を代表して、14名に理事長から顕彰状を贈呈しました。

○各種団体推薦の部

【教育部門】

「個人の部」射水市立新湊中学校 1年 浦 千帆 様 中村心桜里 様
藤田 結鈴 様 皆川 羅蘭 様
能登半島地震復興のため現地に赴くなど様々な被災者支援活動に尽力しました。

「団体の部」上市町立相ノ木小学校 5年生 老人福祉施設を訪問しお年寄りとの交流を深め福祉について深く学びました。

【一般部門】

「単年個人の部」高見 葉子 様
恵光学園で進んで園児の療育補助を行い園児の健全育成に努めました。

「5年個人の部」齊藤 和芳 様
老人福祉施設で健康麻雀を指導し利用者の認知症予防に努めました。

「5年団体の部」未来におせっかい 地区の子供たちが未来に羽ばたくことを願って様々な行事を工夫して行いました。

「10年個人の部」前田由美子 様
砺波学園で詩吟の指導や発表会の支援を行い園児の健全育成に努めました。

「15年個人の部」川渕 輝子 様
20年以上の長きにわたって地域の環境美化のために尽力されました。

「15年団体の部」西田地方校下長寿会連合会
長年に渡り子ども見守り隊の活動を推進し児童の登下校の安全安心のため尽力しました。

○富山県善意銀行推薦の部

【教育部門】射水市立小杉小学校

善意のともしび箱運動の趣旨に共鳴し積極的に活動した皆さんの募金を集めました。

【一般部門】中島連合町内会女性クラブ

チャリティーバザーなどの活動を通して恵まれない方々への支援を積極的に行いました。

○親切運動推進協力委嘱校の部

富山県立雄峰高等学校家庭クラブ

防災をテーマに様々な学習活動を推進し防災意識の向上を図りました。



皆さんの善行が紹介されるたびに、会場内に温かい優しい思いが広がり大きな拍手が鳴り響きました。

今年も生活保護世帯の子供たちにギフトカードを贈呈しました

富山県善意銀行では、「明るく住みよい街づくり」を目指して日々活動を続けています。その活動の一環として、物価高の中で苦勞しておられる生活保護家庭の中学生以下の



お子さん(9市町一八五人)に一人あたり1万円のギフトカードを贈呈しました。新年度に向かって、子供たちが夢をもって歩んでいける一助となることを期待しています。

今村証券様より県内38の子ども食堂にたくさんの寄付をいただきました

今村証券様は信託報酬の一部をこれまでも北陸の文化振興やみらい作りにむけた取組に対して寄付を行ってこられました。

今回は富山県内の子ども食堂に220万円余りを寄付され、希望のあった38の子ども食堂に五万八千円ずつ寄付金を贈りました。富山県の未来ある子供達にお腹いっぱい食べてもらいたいとのことです。

ニコニコ夢食堂から「食料品の価格が高騰する中で子ども食堂の運営にかかる費用も増えており、経済的に厳しい状況ですが、子供たちはおいしいご飯を楽しみに集まっています。そのため、提供するご飯の質を下げずに頑張りたいと思います。今回いただいた寄付で、毎回のご飯に野菜や肉を増やしてお腹一杯食べてもらいたいと考えています」とお礼の言葉が届きました。

片親家庭を支援している団体に年度末貸出を行いました

片親家庭を支援しているNPO「えがおプロジェクト」「ひとのま」「CCS」に10万円ずつ年度末貸出として贈りました。

CCSから、「寄付ありがとうございます。活動を通して、「産後鬱などの精神疾患を思い育児が困難な家庭」「生活保護を受けている家庭」「外国ルーツの家庭」「ヤングケアラー」「母親が育児困難でネグレクト状態の家庭」「不登校の子ども」等社会に困難な状況に置かれている人がたくさんいること、に思い知らされます。その助けとなるような活動をこれからも続けていこうと思います。ご支援を有効に使わせていただきます。」と言葉をいただきました。

県民の皆様温かい思いが生かされていることうれしく思います。

私たちの活動 (1)親切善行活動

(2)福祉活動

(3)啓発活動

(4)貸し出し活動

(5)拡充活動

富山県善意銀行ホームページ



親切運動推進協力委嘱校の取組紹介 親切運動の輪が広がっています

あったかエピソードをいっぱい集めて

滑川市立北加積小学校

本校では、企画運営委員会の子供たちが中心となって、気持ちのよい挨拶や、友達に思いやりの心をもって接することの大切さを呼びかけています。

○挨拶運動

毎朝玄関で挨拶運動をし、気持ちのよい挨拶を返してくれた子供たちの名前をお昼の放送で発表しています。この活動を通して、気持ちのよい

挨拶をしてくれた子供の姿を見本とした周りの子供たちの意欲が高まり、どんどん挨拶の輪が広がっています。

○「豊かな心の森」運動

友達から親切にもらったことや声をかけてもらったことで、嬉しかった

ことや心が温かくなったことについて、葉っぱ型の紙に書き、掲示していくというものです。今後は人に優しくできたことを花型の紙に書く活動も加える予定です。この活動を通して、あったか言葉やあったかエピソードでいっぱいの学校を目指していきます。



素敵な行動や言葉を見つけよう！ポカポカポスト

富山市立新庄小学校

新庄小学校では、運営委員会の活動の1つとして、ポカポカポストを運用しています。自分がしてもらって嬉しかった行動や言われて心が温まった言葉を紙に書き、ポカポカポストに入れてもらう活動です。ポカポカポストに入っているメッセージには「〇〇さんはいつも笑顔で接してくれて、とても嬉しい。どんなときも笑顔で反応してくれるから、話しかけるたびに元気になれる」や「わたしが足を怪我したとき、〇〇さんに『はくの肩につかまって』と言ってもらって心がポカポカになったよ」などといった内容が書かれています。運営委員会の子供たちが給食時間に放送でそれらのメッセージを紹介しています。聞いている子供たちはさまざまなエピソードを知り、「新庄っ子は素敵だね」と思わず笑顔になり、心がポカポカになる時間となっています。

ポカポカポスト
新庄小マスコット
キャラクター
「新ちゃん」



みんなが協力し合って楽しく過ごせる学校に

高岡市立南条小学校

本校は、全校児童296名が互いを思いやって仲良く過ごしています。

児童会では、「一歩前へチャレンジ 仲間と協力し合いスマイルの輪を広げよう」というスローガンのもと、様々な委員会活動を行っています。毎朝玄関で運営委員があいさつ運動を行い、昼の放送で「今日のあいさつ名人」を発表しています。栽培委員は、毎朝、花壇の水やりを行っています。環境・美化委員は、毎日昼休みに、玄関の砂掃きを行っています。他にも、ベルマーク収集、シャボネット補充等を行い、みんなで明るく元気に過ごせるようがんばっています。

また、運動会の前には色団ごとに「団結ランチ」を食べました。また、清掃のファミリー班で昼休みに「ファミリー遊び」を行いました。上級生が中心となって、みんなが楽しめるよう遊びを考え、他の学年の友達と友情を深めることができました。

このように、だれかのために自分ができることを考え、みんなが楽しく過ごせる学校づくりに励んでいます。



全校で取り組むボランティアデー

南砺市立福光東部学校

本校では、図書・ボランティア委員会の児童が中心となり、毎月10日、11日に「ボランティアデー」を設定し、全校児童にお昼の放送で呼びかけ、自宅にあるアルミ缶と牛乳パックを回収しています。持ってきてくれた人が分かるように玄関前でシールを貼り、全校児童が少しでも協力してくれるように取り組んでいます。2日間で集まったものは、委員会で計量し、記録したものをお昼の放送で報告しています。ボランティア活動で集まったお金は、学校をよりよくするために必要なものを購入することにあてています。昨年度は、バスケットボールやジャベリックボールを購入し、子供たちにボランティア活動で集まったお金で購入したことを伝え、使ってもらいました。本年度も、より多くの児童が学校のことを思い、一つからでも協力していけたらよいと考えています。





『いいね』を広げる

高岡市立南星中学校

南星中学校生徒会では、広げる「いいね」運動を行いました。学校生活で感じた「うれしい」「素敵だな」などの思いを集める、いいねポストを設置し、生徒の心がほっこりするような話を集めました。集めたエピソードを学習発表会等で発表し、南星中学校にいいねの輪を広めることができました。また、「いいね」を広げる活動の一環として校紀委員があいさつ運動を行いました。各クラスで担当する日を決めてあいさつをすることで全校生徒が生徒会活動に参加することができました。そして、普段登校時間の遅い人も早く登校し挨拶運動をすることで気持ちよく一日を過ごすことができいいねの輪がまた広まったと思います。

加えて、今年度の生徒会活動では各委員会とのコラボレーションを意識的に行いました。例えば、南星中学校のマスコットキャラクター「ほしまる」の名前を冠した「ほしまるオリンピック」は体育委員・文化委員・執行部等、各委員会の持ち味を生かして行うことで委員会活動での横のつながりができ、とてもよい取り組みであったと思います。

このような取り組みで広がった「いいねの輪」を今後も大切にして、学校生活を送っていききたいと思います。



みんなが取り組む親切運動

富山県立福岡高等学校

本校は、地域とともに発展を目指し「地域交流活動」に力を注いでいます。

①小・中・高合同のさわやか運動

生徒会執行部が代表で参加し、児童や生徒へあいさつを通して交流を行い、安全な地域作りの一端を担っている。

②地域行事への参加

さくらまつりやつくりもんまつり等の地域の伝統行事に参加し、ふれあいや語らいを通して地域の活性化に努めている。

③交流活動

体育大会で園児と一緒に競技を行ったり、文化祭では介護老人施設の方々に作品を出展していただいたりしている。支援学校との交流会は毎年楽しみにしてもらっていると聞いている。

④清掃活動

学校から福岡駅への通学路の清掃活動を月1回クラス毎に行い、綺麗な町作りに貢献している。



21 県
高富内
岡山善
まこと善
と善意
銀銀
(昭)銀
3838
(44)行

6543
朝上入小
日市善矢
町町町部
善善善善
銀銀銀銀
(昭)(昭)
41413938
(74512)

10987
魚富立硯
山
津市山波
愛と
善誠善善
銀
銀行銀銀
(昭)(昭)
46444443
(3766)

14131211
射滑黒水
水川部見
市
善善善
銀銀銀銀
(平)(昭)
20585049
(1959)

令和7年度 総会のご案内

日時 令和7年6月10日(火) 14:00
会場 電気ビル2階202
内容 令和6年度事業報告 収支決算報告
役員変更 その他

お願い

・欠席される方は、委任状の葉書の提出を
お願いいたします。

ホームページ E-mail アドレスの変更のお知らせ

令和7年4月より以下のように変更になりました。

ホームページ

<https://toyamazengin.com/>

E-mail アドレス

info@toyamazengin.com



とやまのことなら

北日本新聞



ニュースサイトは **webun⁺**
» webun.jp

〒930-0094 富山市安住町 2-14
TEL 076-445-3300



すべての人々の幸せと発展のために。

SHINAGAWA

(株)品川グループ本社

トヨタモビリティ富山(株) 富山ダイハツ販売(株)
トヨタL&F富山(株) 山室重機(株)

〒930-0018 富山市千歳町2丁目5番26号
Tel.076-444-4141
<https://www.shinagawa-group.co.jp/>

会報への掲載広告を募集しています。詳細については、事務局にお問い合わせください。